

玉川小羊幼稚園 2023年度環境教育 報告書

2024年3月

1. 環境教育の取り組み

野菜や花を育てたり、収穫したものを調理することなどを通じて、子どもたちが植物の生長と関わり、「自然っておもしろい!」、「楽しいな!」、「不思議だな!」と感じて欲しいと願って活動した。子どもたちの五感を使って、様々な変化に気づいて欲しく、教師はお膳立てしすぎず、見守ることを心がけた。そして、子どもたちと対話することを大事にして実践した。各クラスの取り組みは、以下の通りである。

年長クラス：アサガオ、サツマイモ（つるでリース作り）、赤シソ

年中クラス：オクラ（スタンプ作り）、ハウレンソウ、

年少クラス：ヒマワリ、ダイコン



サツマイモの収穫（年長クラス）

2. 食育の取り組み

今年度行った食育の取り組みは、以下の通りである。

◎5月ウェルカムランチ（サンドイッチ・サラダの調理）

☆7月赤しそジュース調理

◎☆11月感謝祭（さつまいも汁調理）

◎1月おもちのワークショップ

☆2月ハウレンソウ収穫・調理

☆1月ダイコン収穫・調理

（一覧の◎は行事、
☆は収穫したものの調理）。

3. ネイチャーアトリエの取り組み

ネイチャーアトリエでは、季節に合った、季節を意識できるような活動を意識して行った。子どもたちにとって、「発見っておもしろい!」、「自然は楽しいな」と感じられるような活動、子どもとの関りを心がけた。

<主な活動> ・葉っぱビンゴ ・しゃぼんだま屋さん ・葉っぱを使った製作
・梅干し作り ・花や球根の観察 ・ストーンペインティング
・ミニトマト栽培とミニトマト屋さん ・コキアのほうき作り

4. 取り組みを通して

- ・畑で花や野菜を育てることへの興味や関心が育ち、自分より下の年齢の子へ教えることで自信となり、達成感を得ることができた。
- ・食育は自分の育てた作物を調理することによって、普段は苦手としている野菜を食べてみるようになった子が見られることや、子どもたちの食への興味関心が高まっている。
- ・ネイチャーアトリエでは、子どもたちの自主性を尊重して行った。
発想の豊かさや喜んで活動する姿もあり、子どもたちとの対話や年齢の違う子ども同士の関りも豊かになっていった。
- ・新たな試みとして、おもちのワークショップを行った。「おもちって何? どうやってできるの?」ということを知り、興味や関心を持ったうえでおもちつきを楽しむことができた。